

# KENWOOD

VHF FM 無線電話装置

## TK-7180

UHF FM 無線電話装置

## TK-8180-400

---

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる場所に保存してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation

# 安全上のご注意

## 絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 **危険** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例

 △記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。

 ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。

 ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを AC コンセントから抜け）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## △危険

引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。



運転しながら本機を操作（交信）するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作（交信）してください。運転しながら表示を見るときは必要最小（1秒以内）にしてください。



**警告****使用環境・条件**

電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。



航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください(電源も入れないでください)。運行の安全や無線局の運用や放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。



本機を使用できるのは、日本国内のみです。外国では使用できません。

**本機の取り扱いについて**

DC 電源コードに重いものをのせたり、加熱したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり傷つけたりしないでください。芯線が露出・断線したり、圧迫されたまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



濡れた手で DC 電源コードに触わないでください。感電の原因となります。



長時間の連続送信はしないでください。本体の温度が上昇して、やけどの原因となります。



アンテナのごく近くに人・動物・ペット等がいるときは、電波を発射しないでください。やけど、目の異常の原因となります。



濡らしたり、濡れやすい場所で使用しないでください。水滴が付いたときは、乾いた布でふきとってください。内部に水が入った場合は、ご購入の販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



本機を布・布団等で覆わないでください。火災の原因となります。



内部に金属片・異物等を入れたり、入りやすい環境で使用しないでください。



金属片・異物等が入った場合は、ご購入の販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



ケースは開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、ご購入の販売店にご依頼ください。

**異常時の処置について**

以下の場合、すぐに本体の電源を OFF にして、DC 電源コードを取り外してください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



- 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- 落したり、ケースを破損したとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- DC 電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)

雷が鳴り出したら、安全のため早めに本体の電源を OFF にし、DC 電源コードを取り外して、ご使用をお控えください。



本機を落したり、ケースを破損した場合は、電源スイッチを切り、DC 電源コードを外してから、ご購入の販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

**注意****使用方法について**

テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりします。カーラジオやカーステレオにノイズが入るときは、アンテナの位置を調節してください。



アンテナを接続しない状態で、送信しないでください。火災・故障の原因となります。



スピーカーマイクコネクタ、外部スピーカージャックには、付属または指定のもの以外は接続しないでください。故障の原因となります。



長期間ご使用にならないときは、必ず電源スイッチを切り、DC 電源コードを外してください。火災・故障の原因となります。

**保守・点検**

お手入れの際は、必ず電源スイッチを切り、DC 電源コードを外してください。火災・感電・故障の原因となります。



## 設置・接続時の安全について

設置と接続は、ご購入の販売店にご相談ください。

### ⚠警告

分解・改造したものは使用しないでください。  
火災・感電・故障の原因となります。

設置場所は、車の運転の妨げにならない安全な場所を選んでください。

直射日光の当たる場所や、風通しの悪い場所には設置しないでください。  
火災の原因となります。

振動や衝撃に耐えられるように、車載取付金具にねじを必ず4カ所止めてください。

本機の電源電圧はDC13.8Vです。  
DC13.8V+15%を超えるDC電源には接続しないでください。  
火災・感電・故障の原因となります。

送信時には大電流が流れます。付属品以外のDC電源コードは使わないでください。  
火災・感電・故障の原因となります。

DC電源コードは赤い線がプラス極、黒い線がマイナス極です。  
極性を間違えて接続しないでください。  
火災・感電・故障の原因となります。

DC電源コードを無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり傷つけないでください。  
芯線が露出・断線したり、圧迫されたまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

DC電源コードを加工したり、ヒューズホルダーを取り除くことは、絶対にしないでください。  
火災・故障の原因となります。

濡れた手でDC電源コードに触らないでください。  
感電の原因となります。

## DC安定化電源の使用について

指定以外の電圧で使用しないでください。  
火災・感電・故障の原因となります。

DC電源コードを接続する前に、無線機とDC安定化電源の電源スイッチは必ず切ってください。  
感電の原因となります。

他の機器とタコ足配線しないでください。  
加熱・発火の原因となります。

電源プラグとコンセントの間に、指や金属片が入るようなすき間をあけないでください。  
火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグにほこりが付着したまま使用しないでください。  
ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

### ⚠注意

アンテナや同軸ケーブルに、指定以外のものを使ったり、調整が不完全なアンテナを使わないでください。  
他の電子機器に電波障害を与えます。

車載の場合、シガーライターソケットは電源容量が小さいため、使用しないでください。  
火災・故障の原因となります。

DC電源コードはヒーターや熱器具の吹き出し口近くに配置しないでください。  
被ふくが溶けて火災・感電・故障の原因となります。

DC電源コードの着脱時にコード部分を引っ張らないでください。  
火災・感電・故障の原因となります。

本機を移動させる場合は、必ずDC電源コードを抜いてください。  
DC電源コードが傷つくと、火災・感電・故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には設置しないでください。  
落ちたり、倒れるとけがや故障の原因となります。

油煙や湯気が当たる場所には設置しないでください。  
火災・感電・故障の原因となります。

# 目次

安全上のご注意 .....	2
---------------	---

## ご使用の前に

付属品.....	6
DC 電源コードについて .....	6

## 各部の名称と機能

操作パネルとマイクロホン.....	7
表示部.....	8
背面パネル.....	9

## 操作

基本操作.....	10
各キーの操作<基本設定>.....	11
キーに割り当て可能な機能.....	12
キー機能割り当てメモ .....	14

## その他

運用上の注意.....	16
保証とアフターサービス.....	17
仕様 .....	18

# ご使用前に

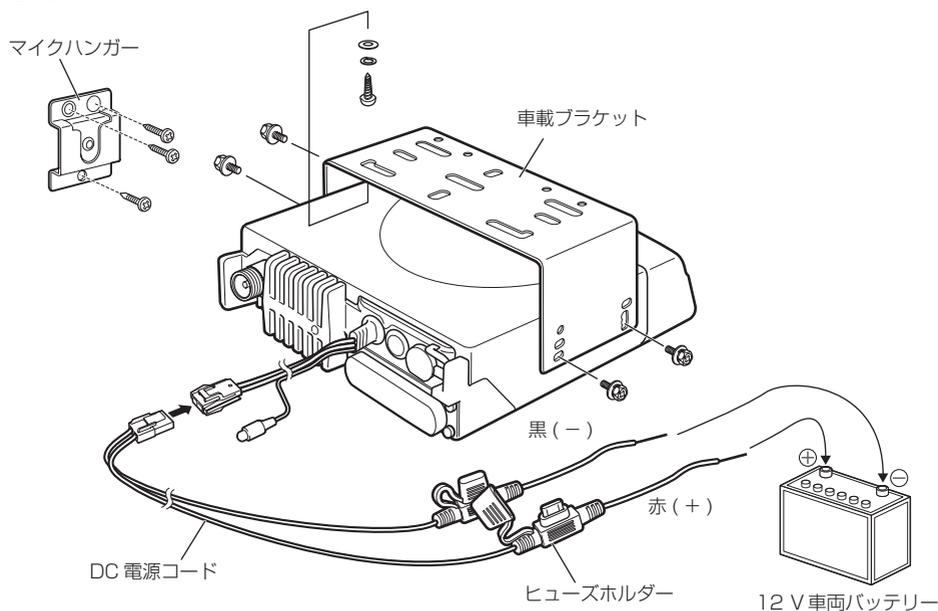
## 付属品

付属品が全て揃っていることを確認してください。

名称	数量
マイクロホン	1
マイクハンガー	1
DC 電源ケーブル	1
ヒューズ (7.5 A)	2
車載ブラケット	1
ネジセット	1
取扱説明書(本書)	1
保証書	1
サービス拠点一覧表	1

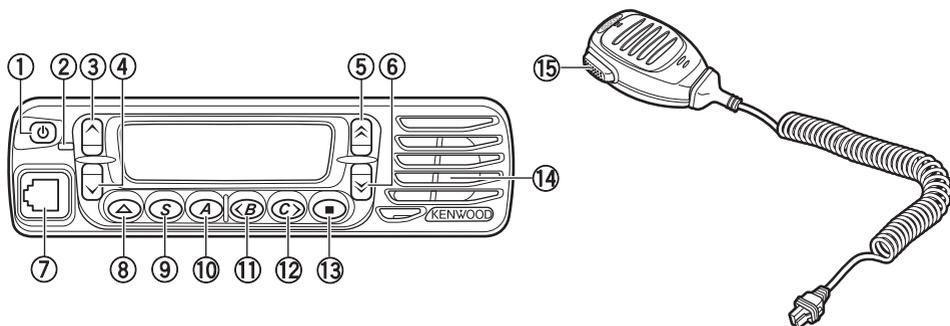
## DC 電源コードについて

- DC 電源コードは、赤色の線が (+) 側、黒色の線が (-) 側です。
- 車両のバッテリーに接続するときは、12 V のバッテリーに接続します。(容量に余裕があるバッテリーに接続してください)
- DC 安定化電源に接続するときは、DC13.8 V で 10A 以上の DC 安定化電源を使用してください。



# 各部の名称と機能

## 操作パネルとマイクロホン

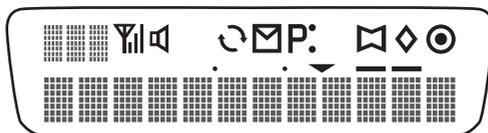


- ① **【P】キー**  
押すごとに電源が ON/OFF します。
- ② **送受信 LED**  
送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。
- ③ **【^】キー**  
機能が登録できます。  
(基本設定は<チャンネルアップ>)
- ④ **【v】キー**  
機能が登録できます。  
(基本設定は<チャンネルダウン>)
- ⑤ **【^】キー**  
機能が登録できます。  
(基本設定は<音量アップ>)
- ⑥ **【v】キー**  
機能が登録できます。  
(基本設定は<音量ダウン>)
- ⑦ **マイクロホン端子**  
マイクロホンを接続します。
- ⑧ **【△】キー**  
機能が登録できます。  
(基本設定は<ダイレクト CH1 >)
- ⑨ **【S】キー**  
機能が登録できます。  
(基本設定は<ダイレクト CH2 >)
- ⑩ **【A】キー**  
機能が登録できます。  
(基本設定は<ダイレクト CH3 >)
- ⑪ **【<B】キー**  
機能が登録できます。  
(基本設定は<スケルチレベル(ダウン)>)
- ⑫ **【<C】キー**  
機能が登録できます。  
(基本設定は<スケルチレベル(アップ)>)
- ⑬ **【■】キー**  
機能が登録できます。  
(基本設定は未設定です。)
- ⑭ **スピーカー**  
受信音声を出力します。
- ⑮ **【PTT】スイッチ**  
押すと送信されます。押したままマイクロホンに向かって話します。離すと待受受信状態になります。



- 基本設定は基本仕様で設定されている場合の各キーの機能です。
- キーに設定する機能は販売店にて変更が可能です。(12 ページの「キーに割り当て可能な機能」を参照)
- 設定された機能は 14 ページの「キー機能割り当てメモ」に記入しておくくと便利です。

## 表示部

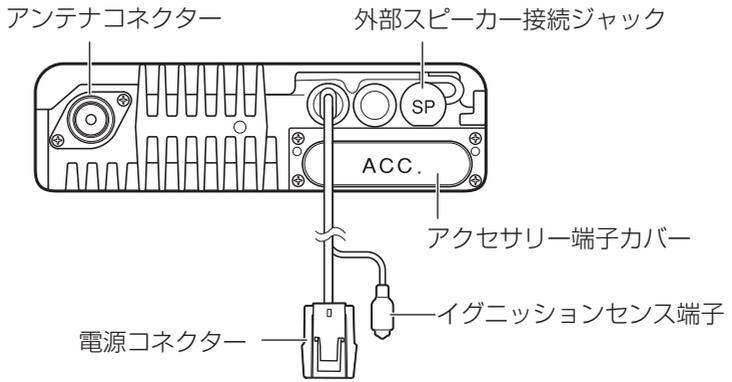


表示	説明
	チャンネルネームやセレコールメッセージなどを表示します。
	チャンネル番号表示や状態表示します。
	受信電波の電界強度を表示します。
	モニターを ON している時や、スケルチを開いている時に表示します。
	スキャンモードになると表示します。
	セレコール機能でメッセージメールがある時に表示します。
<b>P:</b>	プライオリティチャンネルを選択時に表示します。 <b>P<sup>●</sup>:</b> プライオリティチャンネル 1 を選択時 <b>P<sub>●</sub>:</b> プライオリティチャンネル 2 を選択時 <b>P<sub>●●</sub>:</b> プライオリティチャンネル 1 と 2 を選択時
	ホーンアラート機能を ON しているときに表示します。 <オプション装着時>
	ボイススクランブラー機能を ON している時に表示します。
	パブリックアドレス (PA) 機能を ON している時に表示します。 <オプション装着時>
	常時録音中に表示(左●)します。<オプション装着時>
	留守録音機能を ON している時に表示(右●)します。 <オプション装着時>
	表示しているチャンネルがスキャン対象の時に表示します。
	AUX A 機能を動作させた時に表示(左—)します。
	AUX B 機能を動作させた時に表示(右—)します。



- 各アイコンは、販売店にて機能が設定されている場合に表示されます。

## 背面パネル



## 基本操作

### 待受受信操作

- 1 【**Ⓞ**】キーを押して電源を ON にします。
- 2 【チャンネルアップ】/【チャンネルダウン】キーでチャンネルを合わせる  
待受受信の状態では相手から送信されると、送受信 LED が「緑」に点灯します。

### 音量を調節する

- 3 【音量アップ】/【音量ダウン】キーで音量レベルを設定する

### 送信操作

- 4 **マイクロホンの【PTT】スイッチを押しながら話す**  
押しながらマイクロホンに向かって話します。送受信 LED が「赤」に点灯し、送信状態になります。  
マイクロホンは口元から 5 cm 程度離してください。近づけすぎたり、離しすぎたりすると、受信相手が聞き取りにくくなります。【PTT】スイッチを離すと待受受信状態に戻ります。

### タイムアウトタイマー

タイムアウトタイマーは設定された時間が経過すると、連続送信を自動的に停止します。設定された時間を過ぎても【PTT】スイッチを押し続けると、警告音が鳴りま  
す(アラートトーン)。警告音は【PTT】スイッチを離すと停止します。

## 各キーの操作<基本設定>

基本設定時の各キーの動作です。キーの機能は販売店により変更が可能です。

- **【^】キー**  
押すごとにチャンネル番号が上がります。
- **【v】キー**  
押すごとにチャンネル番号が下がります。
- **【<】キー**  
押すごとに音量が上がります。
- **【>】キー**  
押すごとに音量が下がります。
- **【△】キー**  
押すと CH1 に割り当てたチャンネル番号に切り替わります。
- **【S】キー**  
押すと CH2 に割り当てたチャンネル番号に切り替わります。
- **【A】キー**  
押すと CH3 に割り当てたチャンネル番号に切り替わります。
- **【<B】キー**  
押すごとにスケルチレベルが下がります。  
弱い電波でもスケルチが開きやすくなります。
- **【C>】キー**  
押すごとにスケルチレベルが上がります。  
強い電波でないとスケルチが開かなくなります。

## キーに割り当て可能な機能

操作パネルのキーには下記機能の設定が可能です。

<機能の詳細や操作については販売店にお問い合わせください。>

- **無設定**  
機能の設定無し(空きキー)
- **AUX A**  
AUX 出力端子を動作 / 非動作を切り替える機能です。  
【AUX A】キーに連動してポート出力が切り替わります。AUX A ポートに接続された外部機器を制御することができます。
- **AUX B**  
AUX 出力端子を動作 / 非動作を切り替える機能です。  
【AUX B】キーに連動してポート出力が切り替わります。AUX B ポートに接続された外部機器を制御することができます。
- **コール 1 ~ コール 6**  
【コール 1】 ~ 【コール 6】キーに割り当てたステータスや DTMF コードを送出します。
- **チャンネルダウン**  
チャンネル番号を 1 つ下げます。1 秒間以上押すと、押している間連続して番号が下がります。
- **チャンネルアップ**  
チャンネル番号を 1 つ上げます。1 秒間以上押すと、押している間連続して番号が上がります。
- **チャンネルエントリー**  
キーパッド付きマイクロホンを使用して、キーパッドで直接チャンネル番号を指定します。
- **チャンネルリコール**  
スキャン中に最後に呼び出したチャンネル番号を呼び出します。
- **時計**  
時刻を表示します。
- **ダイレクト CH1 ~ダイレクト CH5**  
【ダイレクト CH1】キー ~ 【ダイレクト CH5】キーに割り当てたチャンネル番号に直接移行します。
- **ディスプレイキャラクター**  
メイン LCD 表示を「チャンネルネーム」と「チャンネル番号」に切り替えます。
- **エマージェンシー**  
緊急呼出の動作をします。
  - エマージェンシー機能は【△】キーにのみ設定可。
- **音量固定**  
無線機の様々なトーンのレベルを高 / 低 / OFF に切り替えます。
- **ファンクション**  
ファンクション(機能拡張)モードになり、2 番目の機能キーを選択できます。
- **GPS データ送信**  
GPS ユニットから無線機を経由して受信した GPS データを、基地局へ送信します。(セレコールの機能) <オプション装着時>
- **GPS ポジションディスプレイ**  
自局の緯度、経度、高度を表示します。  
<オプション装着時>
- **ホームチャンネル**  
よく使用するチャンネルへ直接移行します。
- **ホーンアラート**  
ホーンアラート機能を ON/OFF します。  
<オプション装着時>
- **LCD ブライトネス**  
LCD のバックライトを、明るい / 暗い / 消灯に切り替えます。

- **留守録音**

移動局が無線機から離れているときなどのために、基地局から音声メッセージを録音できます。〈オプション装着時〉
- **再生**

録音音声を再生します。1 秒間以上押すと音声メモ機能を ON します。  
〈オプション装着時〉
- **パブリックアドレス(PA：拡声装置)**

PA 機能を ON/OFF します。  
〈オプション装着時〉
- **スキャン**

スキャン機能を ON/OFF します。
- **スキャン削除 / 追加**

表示しているチャンネル番号をスキャンの対象にするか、しないかを決定します。
- **スクランブラー**

ボイススクランブラー機能を ON/OFF します。
- **セレコール**

直接 Fleet/ID 番号を入力、または登録されているセレコールリストから選択してセレコールを行うときに使用します。(セレコールの機能)
- **セレコール + ステータス**

直接 Fleet/ID 番号とステータス番号を入力、または登録されているセレコールリストとステータスリストを選択してステータスメッセージを送信するときに使用します。(セレコールの機能)
- **ステータス**

ステータス番号を入力、または登録されているステータスリストを選択してステータスメッセージを送信するときに使用します。(セレコールの機能)
- **モニター**

押すごとにモニターが ON/OFF します。
  - **モニター**：シグナリングを解除して、受信信号の状態をモニターする機能です。
- **モニター・モーメンタリー**

押している間モニターが ON します。
- **スケルチレベル**

スケルチのスレッシュホールドレベルを設定するモードになります。
  - レベルの切替は【<B>】と【<C>】キーでおこないます。
- **スケルチオフ**

押すごとにスケルチが開いたり / 閉じたりします。
- **スケルチオフ・モーメンタリー**

押している間スケルチが開きます。
- **トランシーバー・パスワード**

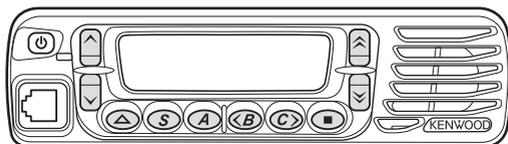
権限が無い人に使用されないためのパスワードを設定してある場合に、電源を ON するとパスワード入力待ちになります。
- **音量ダウン**

音量を 1 つ下げます。1 秒間以上押すと、押している間連続して音量が下がります。
- **音量アップ**

音量を 1 つ上げます。1 秒間以上押すと、押している間連続して音量が上がります。

## キー機能割り当てメモ

操作パネルのキーに割り当てられた機能を下の表にメモしておくくと便利です。



キー	割り当て機能	
		F+ :
		F+ :
		F+ :
		F+ :
		F+ :
		F+ :
		F+ :
		F+ :
		F+ :
		F+ :

F+ : は設定した【ファンクション】キーを押した後の 2 番目の機能です。

## キーパッド付マイクロホン(オプション)

キー	割り当て機能
1	F+ :
2	F+ :
3	F+ :
4	F+ :
5	F+ :
6	F+ :
7	F+ :
8	F+ :
0	F+ :
*	F+ :
#	F+ :
A	F+ :
B	F+ :
C	F+ :
D	F+ :

F+ : は【ファンクション】キーを押した後の 2 番目の機能です。

## 運用上の注意

### ● 免許状

無線局免許状は必ず無線機のそばに備えてください。

### ● 使用上の制限

通話は免許状に記載された次の事項の範囲内で行わなければなりません。

1. 無線局の目的
2. 通信の相手方
3. 通信事項

また、無線機は他人に貸したり、他人のために使用することは原則としてできません。

### ● 免許の有効期限

免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。

### ● 再免許の申請

引き続き運用する場合は、有効期間が終了する6ヶ月前から3ヶ月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。

免許ならびに再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。

### ● 免許の申請その他の手続き

免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 再免許の申請
- 免許証の記載事項に変更が生じる場合の手続き
- 免許証が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
- 無線設備を変更したり、新しいものに替える場合
- 無線局を廃止する場合
- その他

## 保証とアフターサービス（よくお読みください）

### 【保証書（別添）】

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 【保証期間】

保証期間は、お買い上げの日より **1年間**です。

### 【補修用性能部品の最低保有期限】

ケンウッドはこの本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### 【修理に関する相談窓口】

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンターへお問い合わせください。（お問い合わせ先は、別紙“ケンウッド全国サービス網”をご覧ください。）

## 修理を依頼されるときは

製品に異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様ご自身でお控え下さいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合等によって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、ケンウッドは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 【保証期間中は】

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

### 【保証期間が過ぎているときは】

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

#### 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。修理をご依頼のときは、製品名、製造番号、お買い上げ日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号をお知らせください。

【修理料金の仕組み】（有料修理の場合は次の料金が必要です。）

**技術料：**故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。

**部品代：**修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

**送料：**郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

仕様

型名		TK-7180	TK-8180-400
用途		VHF 帯	UHF 帯
		業務無線機	
送信出力		5 ~ 30 W	
周波数		142.0000 ~ 162.0375 MHz	400.0000 ~ 470.0000 MHz
電波型式		F3E / F2D	
チャンネル数		最大 512	
消費電流	送信時	9.0 A	
	受信時	1.0 A	
	受信待受時	0.5 A	
電源電圧		DC 13.8 V ± 15 %	
対応防水・防塵レベル		IP54 ※	
寸法 (突起物を含む)		幅 160 mm x 高さ 45 mm x 奥行 157 mm	
		(幅 160 mm x 高さ 45 mm x 奥行 173.7 mm)	
質量(重さ)		1.38 kg	
アンテナ接栓		N 型	

※パネルセパレート時( KRK-10 使用時)のコントロールパネル部は IP55 に対応。

- 仕様は技術開発に伴い変更することがあります。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、**カスタマーサポートセンター**をご利用ください。  
ナビダイヤル0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金で問い合わせが可能です）  
携帯電話・PHS・IP電話からは、045-933-5133

F A X 045-933-5553

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山 1-16-2

受付日 月曜日～土曜日（祝祭日・弊社休日を除く）

受付時間 月曜日～金曜日 9：30～18：00

土曜日 9：30～12：00、13：00～17：30

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または最寄りのケンウッド・サービスセンターにご相談ください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）